

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

カルテ番号

氏 名

生年月日

性別

提出日

主治医

病名： 多発性骨髄腫

患者本人へ説明した内容：

プロトコール名：DBLd療法（移植適応 3～6サイクル目）

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm)

体重(kg)

体表面積(m²)

							DAY 1	DAY 2	DAY 3	DAY 4	...	DAY 8	DAY 9	DAY 10	DAY 11	DAY 12	...	DAY 15	...	DAY 21	DAY 22	標準投与量
薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント		1月 0日	1月 1日	1月 2日	1月 3日		1月 7日	1月 8日	1月 9日	1月 10日	1月 11日		1月 14日		1月 20日	1月 21日	
1 レナリドミドカプセル(5mg)	25mg/body		経口		Ccrが30～49ml/minの患者は10mg/body		○	○	○	○	...	○	○	○	○	○	...	○	...	○		
2 レスタミンコーフ錠(10mg)		3錠	経口		ダラキューロ投与 1～3時間前に内服		○											○				
カロナール錠(200mg)		4錠	経口				○											○				
3 レナデックス錠	40mg/body	40mg	経口				○	○	○	○			○	○	○	○						
レナデックス錠	※8mg/body	※8mg	経口															※○				
4 生理食塩水		0.mL	皮下注				○			○		○			○							ボルテゾミブ
ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		皮下注		1Vあたり SS1.2mLで溶解		○			○		○			○							0.mg
5 ダラキューロ	15mL/body (ダラジズマブとして 1800mg)		皮下注	3～5分 かけて投与	調製後 4時間以内に投与		○											○				ダラキューロ
																						15mL

※DBLd承認の臨床試験ではday15はデキサメタゾン10mgではあるが、当院血液内科と相談の上、当院では割線のないレナデックスでの処方をするため8mg/bodyとする。
(承認プロトコール通り、デキサメタゾン10mgを処方したい場合はデカドロン錠4mg 2.5錠で処方)

1サイクル： 28日

投与日：ダラキューロ day1,15

ボルテゾミブ day1,4,8,11

レナリドミド day1-21

サイクル数： 4回

臨床試験では、Dara→Borの順に投与しているが、
メーカー推奨したところ、投与順に意味はないとのこと。
当院では他レジメンに準じてBor→Daraの順で投与とする。

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。